

**阿部 司 衆議院議員****衆議院議員・日本維新の会代表
付・内閣委員**

東京都出身。早稲田大学商学部卒業後、平成20年、世界的大手企業に入社。営業職として、企業のシステム導入支援に携わる。

平成27年、政治家を志し、政策シンクタンクに転職。地域活性化、若手リーダー育成、政党コンサルティングに関わる。

令和3年の総選挙で初当選。内閣委員会理事、予算委員、党国会対策委員長などを歴任。

只今ご紹介いただきました、日本維新の会、衆議院議員の阿部司と申します。本日は、馬場伸幸代表の代理で御挨拶に参りました。憲法改正に向けて日夜ご尽力されている皆様の熱き活動に感謝、そして敬意を表したいと思います。言うまでも無く日本維新の会の思いは皆様方と全く同じ、一日も早い憲法改正の実現。それに向けて、がっちりとスクラムを組んでまいりたい。

5月3日は、全国で憲法改正を願う様々なイベントが開催されております。この会合も本日で55回目ということでございます。私は6月で42歳ですが、生まれる10年以上前から、このような会が続けられてきたことを思えば、いかに長く厳しい時代を経てきたのか、ということを実感しております。もちろん、回数を競

うものではございません。最大の目標は憲法改正でございます、それを達成し、来年は新しい目標に向けて心合わせをさせていただきたい、と願っております。

さて、憲法は主権があつて初めて制定改正されるべきものであることは言うまでもありません。御承知のように、米国の占領の究極の目的は、日本が再びアメリカの脅威にならないよう、全くの丸腰にすることでありました。このことは、機密指定が解除されてから公表された、降伏後における「米国の初期の対日方針」という公文書にもはっきりと書かれております。独立主権国家として、憲法に書かれているべき国防や緊急事態の規定が存在しないことは、占領政策の当然の結果と言えます。時代と国際情勢の変化に取り残され、日本を金縛りにしてきた

現憲法の課題は明白であります。主権喪失の下で作られた憲法が直面する様々な課題を正し、憲法を国民の手に取り戻さなければなりません。それは、発議を行うべき立法府に課された使命と考えております。

ところが今国会では、ようやく初の衆議院憲法審査会での実質討議が開かれたのは、4月11日のことでありました。ただでさえ衆議院に遅れをとっている参議院は、来週の5月8日に初回の実質討議がなされるというありさまであります。この非生産的な国会を国民の皆さんはどう御覧になられたでしょうか。国民の命と暮らしを守る憲法に不断に向き合い、時代に即したものに作り上げることは、国会議員に課された重大な任務であり、臆面もなく難癖をつけるのは言語道断であります。反対の立場であっても、堂々と議論のテーブルについて、論陣を張るのが筋であり、牽強付会な反対論をぶっても、国民の支持・理解など得られない。こんな自信のなさからかは分かりませんが、議論から逃げ回っているのが特定野党に他ならない。平成23年に憲法審査会が設置され、12年半が経ちました。ある学者の調べによると、スタートから令和4年まで、衆参憲法審査会の運営経費は両院合わせて33億円。どれだけ国税を使って、どれだけ成果が得られたか。国費の無駄遣いに他ならない。カタツムリより遅い歩みではもはや許されない。岸田総理は、今年9月の自民党総裁の任期までに、憲法改正を目指すと繰り返

しておられますが、発議後60～180日間の周知期間が必要であると思えば、国民への重い約束を果たすためには、今国会終盤までに発議しなければならない。

衆議院の憲法審査会では、大規模災害時の国会議員の任期延長などの緊急事態条項をめぐって、日本維新の会・自民党・公明党・国民民主党・有志の会の五会派は、必要に応じて、衆議院議員の任期延長ができることなどの必要性で一致し、日本維新の会・国民民主党・有志の会は、条文案も提出しました。

憲法改正をめぐっては、同志である、自民党の平沢勝栄先生がお越しです。この場を借りて要望させていただきます。憲法改正を党是とする最大与党として、特定野党の妨害を許さず、衆参歩調を合わせて憲法改正論議をリードしていただきたい。特定野党がもし憲法審査会開催を妨害するようであれば、その党抜きで審査を進め、機が熟したら多数決で民主的に改正原案づくりを進めていただきたい。衆議院では101人の賛成で改正原案を提出できますので、よろしく願いいたします。それがすべて国民と国家のためであります。憲法改正無くして明日の日本はありません。国民主権を掲げる日本国憲法が一度も国民の審判を仰いでいないのは、矛盾であります。皆様方としっかり手を携え、真の主権を行使できる国民投票が実施され、憲法改正が実現できるよう全力を尽くしてまいります。皆さん力を合わせて頑張りましょう。